

複式学級年間指導計画例(AB年度折衷案)

学期	番号	A年度	B年度	分類	時数
1 学期	①	5年 Unit 1 Hello, friends!		同単元類似内容異程度	8
		6年 Unit 1 This is me!			
	②	6年 Unit 2 My Daily Schedule	5年 Unit 2 Happy birthday!	同単元同内容同程度	8
	③	6年 Unit 3 My Weekend	5年 Unit 3 Can you play dodgeball?		8
④	6年 Check Your Steps 1 発信！わたしのニュースあれこれ	5年 Check Your Steps 1 おたがいの魅力、再発見！	2		
			[26]		
2 学期	⑤	5年 Unit 4 Who is this?	6年 Unit 4 Let's see the world.	同単元同内容同程度	8
	⑥	5年 Unit 5 Let's go to the zoo.	6年 Unit 5 Where is from?		8
	⑦	5年 Unit 6 At a restaurant.	6年 Unit 6 Save the animals.		8
	⑧	5年 Check Your Steps 2 聞いて！わたしの町じまん	6年 Check Your Steps 2 始めよう！地球のためにできること		2
				[26]	
3 学期	⑨	5年 Unit 7 Welcome to Japan.		同単元同内容異程度 (圧縮版)	4
	⑩	6年 Unit 7 My Best Memory			4
	⑪	5年 Unit 8 Who is your hero?			4
	⑫	6年 Unit 8 My Future, My Dream			4
	⑬	5年 Check Your Steps! 3 おすすめしたい！日本の素敵			同単元類似内容異程度
6年 Check Your Steps! 3 卒業！今伝えたい、わたしの思い					
				[18]	

年間総時数〔70〕

留意点

- ここに掲載する複式学習指導計画例は、折衷案（1本案で1年間繰り返し指導する方法と、2本案でA・B年度に配分して指導する方法を組み合わせた単元配列）で実施することを前提にしています（「同単元同（類似）内容異程度」の指導と「同単元同内容同程度」の指導を混合して実施）。一方の年度に難しい内容や易しい内容が偏ることのないよう、学習内容の難易度を考え、両年次に5・6年教材を平均的に配列しています。
- ①と⑬については、第5学年は5年教材、第6学年は6年教材を使って行い、異程度で目標等を設定します。同じ系統の教材を同じ単元として扱い、共通な目標や学習活動を設定し、学年の違いによって学習内容や目標の程度を変えて指導します。その際、両学年とも発表型のゴール活動とすることで、合同の活動を設定することができます（同単元類似内容異程度）。令和6年度本紹介サイトでは、この①と⑬の指導案例を公開しております。
- ⑨～⑫については、一単元あたりの単式での時数を半分に圧縮し、学年の違いによって学習内容や目標の程度を変

え、2年間繰り返して指導します（同単元同内容異程度）。そのため、Let's Listenなどをそのままの問題数で扱うと1時間ではおさまらないこととなりますが、児童の実態に合わせて問題を適宜選び、1時間に収まるように調整してください。機械的に選択する方法として、A年度は奇数番号、B年度は偶数番号を扱うなどの方法も考えられます。圧縮版の指導計画については、別途データをご用意しております（2024年3月公開予定）。

- ・②～⑧については単式学級の指導と基本的には同じになるので、指導書研究編の学習指導案や、本資料と同じページで公開している「年間指導計画作成資料」をご活用ください（下記URL）。

<https://ten.tokyo-shoseki.co.jp/text/shou/eigo/keikaku/>